

Ⅶ 評価

ポイント

- 評価の観点を明らかにしておきましょう。
- 児童の変容を注意深く見て、形成的に評価しましょう。
- 指導方法の評価にも心がけましょう。

1 科学研究での評価の観点



作品を制作させたのはいいが、それをどう評価すればいいのかいつも迷うんだよな。

◆児童の到達点だけを見てはいませんか？

作品の善し悪しだけの評価では、児童の学習意欲にはつながりません。科学研究では、児童の「関心→意欲→態度」の変容が重要です。「またやってみよう」「楽しかった」といった学習意欲の向上を見取ってあげましょう。

◆児童のこんなところを評価しましょう。

- 関心・意欲・態度の変容はどうだったか。
- 工夫や努力したところはどんなところか。
- 科学研究をまたやってみようという意欲につながったか。
- 今後の課題を発見できているか。

2 指導方法についても評価してみましょう

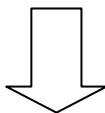
次のような観点で評価してみましょう。

- 児童一人一人に課題意識をもたせることができましたか。
- 児童のつまずきや疑問に対応できましたか。
- 児童の頑張りをきちんと評価できましたか。また、それを児童に伝えることができましたか。
- 次年度の課題は何ですか。

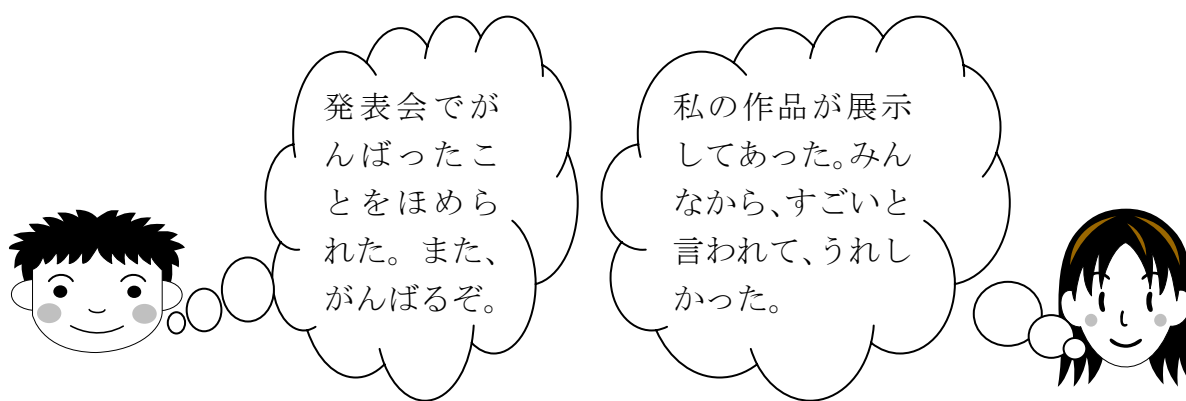
3 発表会や展示会も評価活動の一つです

児童のやる気を更に高めるためには、次のようなことが必要です。

- 研究をしたことへの成就感を持たせる。
- 研究をまわりから認めてもらう機会をつくる。



発表会や展示会をして認めましょう。



◆ 発表会

ポイント

- 自分の言葉で表現させましょう。
- 内容を整理し、分かりやすく説明できるようにしましょう。

◆ 展示会

ポイント

- 全児童の参考になるように授業で紹介しましょう。
- 全児童が必ず見る場所に展示しましょう。
- 児童の頑張りを認めるように教師のコメントをつけましょう。